



2019年8月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ イ ネ ッ ト
 住 所 東 京 都 港 区 北 青 山 二 丁 目 11 番 3 号
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 原 仁
 (コード番号: 3928)
 問 い 合 わ せ 先 取 締 役 澤 野 真 実
 コーポレート本部長
 TEL. 03-6864-4261

第2四半期連結業績予想値と実績値との差異、前期実績値と当期実績値との差異及び減損損失計上と繰延税金資産の取崩し、並びに連結業績予想修正に関するお知らせ

2019年5月15日に公表いたしました2019年12月期第2四半期累計の連結業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じました。また、2019年12月期下期の業績予想の公表及び通期の連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期累計連結業績予想値と実績値及び前期実績値と当期実績値との差異
 (2019年1月1日～2019年6月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	E B I T D A
前回発表予想(A)	6,009	△162	-	-	230
実績値(B)	5,944	△381	△411	△908	△5
増減額(B-A)	△65	△219	-	-	△235
前期連結業績(C) (2018年12月期 第2四半期累計)	5,533	△429	△458	△3,528	91
増減額(B-C)	411	48	47	2,620	△96

2. 連結業績予想値と実績値の差異及び前期実績値と当期実績値との差異の理由

ゲームサービス事業という新たな業態をゲーム産業に確立して、事業目標である「100タイトル100チーム10年空間」を達成するため、2019年12月期は仕入範囲の拡張と仕入ペースの加速を行いました。具体的には、現在市場に増加している赤字運営タイトル(再設計型)の買取を積極的に推し進め、当第2四半期累計期間において6タイトル運営開始いたしました。しかしながら、6カ月の再設計期間を経て黒字化を目指す再設計型の再生や新機能開発などで売上伸長を狙う既存タイトル(グロスアップ)が計画どおりに進行しなかったため、売上高、営業利益、EBITDAそれぞれで公表した業績予想を下回り、経常利益以下についても前期実績から大幅に差違が生じました。

3. 減損損失計上と繰延税金資産の取崩しについて

買取時に策定した回収計画通りに進んでいない2タイトルについて、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、無形固定資産162百万円を特別損失として減損いたしました。

また、2019年4月1日に連結子会社である株式会社マイネットゲームズと株式会社GMGを合併した結果、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を228百万円計上することとなりました

4. 2019年12月期 下期 連結業績予想 (2019年7月1日～2019年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	EBITDA
下期業績予想	6,000 ～6,300	△400 ～△250	△407 ～△257	-	△20 ～130
前期連結業績 (2018年12月期下期)	6,600	446	429	271	862

5. 2019年12月期 通期 連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	EBITDA
前回発表予想(A)	13,349	-	-	-	-
今回発表予想(B)	11,944 ～12,244	△781 ～△631	△818 ～△668	-	△25 ～124
増減額(B-A)	△1,405 ～△1,105	-	-	-	-
前期連結業績 (2018年12月期 通期)	12,133	17	△29	△3,257	953

6. 通期 連結業績予想修正の理由

2018年から新たに取り組んできた再設計、グローバルチャレンジ、グロスアップ施策が想定通りに進行せず、2019年第2四半期累計で営業損失が381百万円と計画を大幅に下回る結果となりました。また、事業撤退ニーズによる獲得案件の増加を見込み、月2本獲得を目標としておりましたが、達成することが出来ませんでした。

そのため、2019年下半年期以降は規模成長の追求から持続的利便性体質の構築へと戦略の転換を行います。再設計、グローバルチャレンジ、グロスアップ施策は今後、中止または極小化、当社が培ってきたデータドリブン・スマート運営に注力し、確実に利益化できるタイトルのみ獲得してまいります。そして、利益体質の構築に向け、もともと成長構造に合わせて膨らんでいた組織・コストの圧縮を行ってまいります。

上記を踏まえ、通期 連結業績予想の売上高の修正及び営業利益、経常利益、EBITDA を新たに公表し、下期 連結業績予想についても公表いたしました。

以上